

町政を問う!

一般質問 全議員が登壇

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例議会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。
本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿をそのまま掲載しています。(別掲の議員名を付した文章も全て同様の扱いです。)

野田小百合 議員	1 鳩山ニュータウンの自治組織のあり方について	2 1 防災について	3 公園の整備について
根岸富一郎 議員	1 空き家対策法の活用を問う	2 住宅リフォーム資金助成制度を改善できないか	3 新学童保育制度へ移行し、どんな支援を考えているか
田中種夫 議員	1 梅沢運動場関連の施設改修について	2 町民体育館施設について	
松浪健一郎 議員	1 鳩山ニュータウン地区における、都市再構築戦略事業について	2 泉井地区活性化取組方針について	
森利夫 議員	1 ふるさと納税について	2 給食センターについて	
日坂和久 議員	1 鳩山町まち・ひと・しごと創生総合戦略について		
小鷹房義 議員	1 新給食センターについて	2 国民健康保険税について	
小川唯一 議員	1 農業行政について		
中山明美 議員	1 自殺予防の取り組み	2 災害時の備え	
大賀広史 議員	1 子育て支援	4 空き家対策	
石井計次 議員	1 子育て支援について	2 高齢者支援について	
石井徹 議員	1 道路行政について	2 農政について	
小峰文夫 議員	1 スポーツによる健康づくり・町おこしについて	3 防災無線について	
	2 小さな町から、大きな夢おこし、町おこしについて		
	3 企業誘致について		
	4 4月執行された統一地方選挙について		



野田 小百合 議員

自治協力団体

検討委員会答申を受け、どうするか

要綱の改正等を行っていく

問 鳩山ニュータウンの自治組織のあり方検討委員会の答申内容は、

答 自治協力団体の規模は、鳩・松・楓ヶ丘の3団体、ニュータウン全体で1団体とする意見もあつたが、丁目単位の13団体が望ましいとの意見が多かつた。

住民がお互いに話し合いながら進めていく必要があるとのことだつた。

問 町は答申を受け、どのようにすすめるのか

答 自治協力団体交付金交付要綱を改正し、自治協力団体の定義を明確にする作業を行いたい。

問 答申の中で、住民が話し合う場の設定を町に求めているが。

答 要綱を改正し暫定措置も考える。それらが概ね固まれば、住民の皆様と話し合いたい。

問 地区防災計画の策定を考えているか。

答 策定は義務化されていない。国から情報提供される可能性もあり、それらの状況を確認し、進めていきたい。

問 公園のあり方について、住民と共に検討してみたいかがか。

答 現在、ニュータウン内の公園は維持補修程度の工事しか見込めない。補助金等の財源確保のめどがついた時点で、一緒に考えられればと思う。

問 ドッグラン設置を必要性も含めて、住民と一緒に考えてみないか。

答 予算確保や設置場所の選定、地域住民の理解、管理運営体制の確立など、さまざまな課題がある。公園のあり方について住民との検討の中で、一緒に考えていければと思う。



2年前に開催された『自治組織のあり方意見交換会』

根岸 富一郎 議員



空き家対策

どういう住宅地域にするか計画を

地方創生本部で取り組みたい

問 近年の空き家等に関する苦情等は。

答 3年間で指導依頼の受理件数は113件、生活環境への影響では31件あり、19件解決済みである。

問 この法律の趣旨は、どういう住宅地域にするかという町づくりであり、実態調査が必要ではないか。

答 創生総合戦略本部で取り組みたい。財政上の措置を研究している。

問 町が空き家対策計画をつくる必要があるか。

答 対策を総合的かつ計画的に実施するため、地域の実情に即した計画が必要である。

問 個人財産に対し、町が是正措置を勧告・命令、行政代執行まで行え、所有者の意向に沿った仲介、相談、助成など必要だが、どうするか。

答 どのような判断と対応をすればよいかなど決

めるために、協議会の設置が必要になる。

問 住宅リフォーム助成制度で、対象経費の基準50万円以上を引下げ、補助率5%の引上げ、補助限度額10万円の引上げ、予算額の引上げなど、どのように考えているか。

答 3年間の時限立法であり、来年度予算編成で、継続、内容の精査、予算など総合的に検討したい。

問 学童保育の保育面積は、1人当たり1・65平方メートルだが、現状はどうか。

答 今宿の施設では、思った以上に多く入所している。子どもの人数などの動向をみながら親との協議を進めたい。



空き家
相続の遅れや所有者が入院などで荒れた家屋（大豆戸地区）

田中 種夫 議員



施設改修

運動場施設の改修工事を早急に

認識しているので予算要求の方向

問 少子高齢化が顕著に進む中で、高齢者が元気に活動する梅沢運動場について伺う。

答 平成26年度の延べ利用者数は約2万6800人であり、その内、高齢者の方たちは、ゲートボール、グラウンドゴルフなどが主流である。一般の町民の方たちは野球、サッカー、ソフトボールなどで利用されている。

問 運動場の施設としてのトイレ及び手洗い所の改修について伺う。町外からも各種大会などで来町する方も多く見受けられるところだが、施設としては余りにも老朽化が目立ち、町の代表施設として誇れる施設とは感じられない。以前からの懸案事項でもあり、今年度はぜひ、改修工事を実施願いたい。そして町外からの利用者へもおもてなしが出来るように。

答 担当課としても早急な改善が必要なのは認識しているので、便器

の数、建物の面積、工事費等、十分検討して予算要求を考えている。

問 隣接する町民体育館について伺う。

答 平成26年度の利用者数は約4万3000人。耐震基準としては、昭和56年に基準が変更された。平成2年に新基準で建設されており、「震度6強程度」の地震でも耐え得ることが出来る。よって避難場所の指定もしている。



老朽化が目立つトイレ

松浪 健一郎 議員



健康・福祉施設

ニュータウンの少子高齢化対策は

具体的な展開はない

問 鳩山ニュータウン都市再構築戦略事業の概要は。

答 全体概要として、高齢者から子育て世代までが安心して暮らせる多世代交流型のまちづくりを目指し、中心拠点誘導施設(旧松栄小学校跡地)である福祉・健康複合施設の整備。また多世代活動交流センターの未利用教室の活用。この地区までの人の流れを確保するための道路のバリアフリー化事業が柱になる。

問 多世代活動交流センターはどうするのか。

答 施設の耐震化と、3階までのエレベーターの設置。未利用教室を多目的交流スペースにした。

問 今のままでは中心拠点誘導施設に人が集まるイメージが出ないが。

答 このエリアの幹になるのは、福祉と健康。そこからさまざまな交流の枝を育て、いろいろな人が訪れる施策展開を、調査研究したい。

問 ニュータウンの少

子高齢化対策は。

答 人口減少の中身は、世帯数は減っていないが、世帯人員数が減っている。具体的な施策についてはまったく展開できていない。

問 3世代同居の場合住宅に関する問題は。

答 玄関2つとか、住居を2つとか、隣の空き家の活用とか考えられる。

問 現在のニュータウンの空き家の数は。

答 165世帯。

問 泉井地区活性化取組方針に、まちの文化財である新沼窯跡が含まれていないのはなぜか。

答 泉井交流・体験エリア等の整備と合わせて第2次取組方針で具体化した。また、国の指定史跡化になれば、国の補助金を含めて検討していきたい。



森 利夫 議員



給食センター

改修工事の延期等を検討すべきでは

早急に建設事業を進めたい

問 給食センターの建て替え工事では、工事代金の9割以上が町の借入金となるが、財政状況をどう考えているか。

答 借入額が建設経費の約9割となるが、町の公債費比率等からは、若干余剰があると考える。

問 補助金が工事代金の1割弱なら、改修工事の延期や工事内容を検討すべきではないか。

答 稼働から30年以上経過し、安全な給食の提供に支障を及ぼしかねない。早急に更新することが必要と考える。

問 町の借入金残高は平成24年度までの過去10年間はおおむね35億円程度で推移してきたが、25及び26年度の借入金残高は。

答 25年度が約49億5000万円、26年度は12月末で約51億円。

問 早期健全化基準を下回っているので、借金をしてでも、建て替え工事が必要としているが、返済その他に不安はないのか。

答 将来的に財政破綻はしないと思う。ただ、毎年の予算編成は厳しい。

問 どうしても改築が必要であれば、高齢者家庭への配食サービス施設等として利用できないか。

答 法制度的には可能ではないが実施には難しい。

問 週3回のご飯給食のお米は、建て替える施設でも炊かないのか。

答 給食設備等の関係から、外部委託を続ける。それなら、おかずも外部の方が良くないか。

答 おかずは直接調理する方が理想的。



建て替えを予定している給食センター

日坂 和久 議員



鳩山町創生

バーチャル資料館設置の位置づけは

全町公園化構想の具体化のひとつだ

プレミアム付商品券

問 実施要綱からすると、業務が煩雑で多岐に渡り大変だ。委託業務とした理由は。

答 大変すぎて町でできないかもしれないし、この様な事業は商工会に汗をかいて欲しい。

問 多子家庭・赤ちゃん家庭への支給事業は実施できるのか。

答 実施の準備を進めている。

問 商品券との引換に手間がかかるのでは。

答 できるだけ簡略化したいと考えている。

問 町が発行体なので、今秋開店予定の大規模店舗などは、町からも加盟店登録を働きかけては。

答 大きな店舗だとすぐに決済はできないが働きかける。

問 一過性の地域活性化としないため、今後の政策はあるのか。

答 今後、町内商業振興を基軸とした政策を考えていく。

創生総合戦略暫定計画とバーチャル資料館

問 バーチャル資料館の設置目的は何か。

答 地方創生型ホームページ再構築のひとつで、衛星画像を活用した地域資源の見える化・学び化による観光振興である。

問 創生総合戦略では全町公園化整備目標を変更するのか。

答 変更はできない。

問 窯跡群を活用した町の活性化とICT活用との関連は。

答 窯跡群発掘の歴史現取り組み、将来像をバーチャル資料館で紹介する。

問 バーチャルでは物足りないと思うが。

答 窯跡群活用についてはバーチャル以外の資料館も考える。



継続できる産業振興策につながるでしょうか？

新給食センター

食物アレルギーの対策は

専用調理室の設置を計画

小鷹 房義 議員



問 学校給食センターは30年以上経過し、老朽化が著しい。どのように設備が変わるのか。

答 国の定める学校給食衛生管理基準に適合した設備で、衛生面・健康面から、大量に水を使用しないドライシステムを導入する。衛生管理基準で定める温度25度、湿度80%以下に保つことができると空調設備も整備したい。また、2階から調理現場の様子を見学できるように整備するとともに、研修・会議室を設置する。

問 アレルギー体質のお子さんには、どのような対策をとっているのか。

答 新たに食物アレルギー専用調理室、及び設備を設ける。さまざまな課題等を整理したうえで、食物アレルギー対応検討委員会など組織して検討していく。

問 町におけるアレルギーの児童・生徒の数は。

答 小学生が10人、中学生は2人。

問 全国的に増加傾向であるが町ではどうか。

答 増加傾向にある。町の国保加入世帯数は、平成27年5月末現在で2881世帯、被保険者数は5030人。

問 鳩山町の賦課方式は所得割・資産割・均等割・平等割を合算した4方式を採用しているが、今後は方式が変わるのか。

答 医療分で見ると資産割を除いた2方式が吉見町、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町など採用している。平成30年度から国保の財政運営は都道府県に移管される。賦課方式においても今後の動向に注意して適切に選択していく。

問 現学校給食センター全景



現学校給食センター全景

小川 唯一 議員



農業行政

あんずの収穫予定年は

5農園で今年収穫予定

問 農地中間管理機構の実績と問題点は。

答 事業の対象となる案件を掘り起こす事が出来ずに模索しているところである。

問 問題点は貸し手借りての希望がうまく合わないこと。顔の見えない農家に貸し付けることに抵抗感があるなど、農地を借り集めることが難しい。
問 この抵抗感を払拭するには。

答 出し手農家の理解を得ることが重要であると認識している。

問 新規作物導入補助金の対象作物が栗、かんきつ類、あんずなのか。
答 比較的手間のかからない特産物を考慮した事による。

問 現在までの活用している人数と金額は。
答 平成24年度から交付実績はない。

問 栽培技術指導は誰が行うのか。

答 県の東松山農林振興センターの果樹担当にお願いしている。

問 鳩山町水田高度利

用対策助成事業補助金は町外の人が対象から外されていると聞くが。

答 基本的には町内に住所を有する個人の栽培を対象とする。

問 あんずの収穫予定年はいつ頃か。

答 平成23年度に植えた農園では、今年収穫を行う。

問 商品は何を作るのか。

答 鳩山産あんずの認知度を高める商品を作る。

問 販路は。
答 販路確保は極めて重要、ふるさと納税の返礼品として活用したい。



千曲市のあんず

自殺対策

「心の体温計」を導入してはいいかがか

分析して検討する

問 鳩山町の自殺予防の現状と取り組みは。

答 相談支援事業、臨床心理士、精神保健福祉士などの専門職が対応し、町の関係機関、県の保健所等とも連携して支援を行っている。

一般の方も対象にした講演会等の自殺予防事業、ゲートキーパーの養成を含む全庁的な連携体制の整備のため、自殺対策庁内連絡会を設置。

問 「ゲートキーパー」(自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図る人)の役割は。

答 悩んでいる人に寄り添い、かわりを通して孤立や孤独を防ぎ、支援することが重要となる。町職員、関係機関の職員がゲートキーパーとしての役割を果たすべく、研修会、情報交換を行っている。

きるメリットがある。導入を検討してはいいかがか。

答 このシステムは医学的診断や深層心理を測定するものではないが、心の相談窓口等につながる方法の一つになるかと考えている。アクセス状況や費用も含めた導入効果なども分析して研究していきたい。

問 今後の取り組みは。

答 心に悩みを抱えた方、その家族を対象にした気軽に参加できるサロンを定期的に保健センターで実施する方向で考えている。不安なことを傾聴したり、社会参加を促進するための交流などを図れる場にできればと考えている。



中山 明美 議員

みんなで支えあうゲートキーパーの取り組みを



子育て支援

ファミリーサポート事業の導入を

ニーズやコスト等を研究していく



大賀 広史 議員

問 小学生などが放課後すごせる場所として、公共施設の余剰スペースを利用した子どもサロンの開設は可能か。

答 鳩山町子ども・子育て支援事業計画では、小学生が安心して遊べる場の整備を総合的に検討すると位置づけている。

問 児童館とまでいかなくとも小規模なスペースでサロンのように開放することはできないか。

答 児童館の要件を満たさないものを整備すると、適当な補助金がなく財源的に整備は難しい。

問 保護者の急病などの際、子どもを預かるファミリーサポート事業を開始してはいいかがか。

答 補助基準も低くなつて利用しやすくなっている。ニーズやコスト等を今後研究していく。

問 はくとんカフェやふくしプラザのような高齢者サロンの増設は。

答 ボランティアの育成を図りながら、今後の地域サロンの方向性を検討していきたい。

ポランティアの育成を図りながら、今後の地域サロンの方向性を検討していきたい。



ベイシア鳩山店付近の交差点の安全対策を

問 今宿交差点における日常の立哨指導はどうか。

答 西入間交通安全協会鳩山支部は、街頭で交通安全指導等を行っている。常時の立哨は難しい。

問 鳩山町における交通指導員の設置の検討は。

答 財政面等も含めて研究課題だ。

問 ベイシアができるが小学校が近い。町として交通安全の対策は。

答 児童と利用者の安全確保のため、交差点に定周期式信号の設置の要望を出している。町としてベイシアにも事故防止措置の要望はしていく。

道路行政

町道1号線(泉井)の改修計画は

今年度、測量と設計業務を行う



石井 計次 議員

問 町道1号線の改修事業は北部活性化の大きな事業の1つと理解している。

現在どのような位置づけにあるか伺う。

答 泉井地区と町では北部地域活性化基本条例に基づき活性化協定書を締結した。町道1号線整備事業は泉井地区活性化取組み方針の社会資本整備に区分される事業。

問 事業費と補助金について伺う。

答 現時点での事業費は概算で4億7000万円を想定している。財源としては補助金として防災安全交付金で2億5850万円。(仮称)鳩山新ごみ焼却施設の地元対策費、1億5000万円。一般財源650万円などを計画している。

問 完成年度を伺う。

答 平成29年度に地権者の協力をいただき、道路用地を買収の予定。用地確保の区間から工区を分け、工事を施工。

平成31年度の完成を予定している。

平成31年度の完成を予定している。

問 完成後の幅員は9・75メートルになるが、接続するときにわ町の町道幅員を伺う。

答 鳩山町との接続部分については、4から6メートル程度と認識している。

問 完成度の高い、かつ交通安全上の観点からときがわ町と協議する考えは。

答 鳩山町側から10メートル道路が入ってくる事ときがわ町として「今後の検討課題にさせていただきます」という打ち合せになっている。



道路改良される町道第1号線(泉井地内)

石井 徹議員



スポーツと健康

スポーツと健康の今後の取組は

はとやま毎日一万歩運動の実施

問 スポーツによる健康づくりの今後の取組は。

答 地域健康教室やAAAトレーニング教室を実施、今年度にははとやま毎日一万歩運動を実施する。

問 スローステップ運動の全町展開は。

答 高齢期に取り入れたい運動として過去に講習会を実施、好評につき今後は保健センターの事業に取り入れていく。

問 健康作りを応援するポイント制の導入は。

答 他の自治体の導入例を研究していく。

問 ふるさと納税について

問 ふるさと納税や寄付行為を他の自治体にすることで、実質、今納めている住民税の一部が任意の自治体に移転する。それを補う上でも鳩山町も早期にふるさと納税の取組が必要ではないか。

答 12月1日にホームページ上で展開予定。

問 返礼品の内容は。

答 納税者目線で魅力的な返礼品を選定する。

問 子供達の夢を乗せ

る超小型衛星打ち上げプロジェクトの進行状況は。

答 東京電機大学、JAXAと連携して基本的な考えは共有できており、今後実現に向け進め、地域振興にもつなげたい。



農村公園周辺散歩道

問 災害の危険性、緊急性で音量調整は可能か。

答 緊急時は最大音量、平常時は迷惑にならないよう音量を下げ活用。

問 地震や落雷等の不安解消の為の情報伝達手段として活用はできるか。

答 国や県の指導を仰ぎながら運用の幅を広げ、情報提供や住民の不安解消に努めていきたい。

企業誘致

ベイスシアの進捗状況は

9月中旬オープンを予定

小峰 文夫議員



問 農村公園のじゃぶじゃぶ池の周りに玉石が並べてあるが、その玉石が剥がれて危険状態になっている。どのように考えているか。

答 農村公園は平成8年5月にオープンして以来、多くの方々に親しんでいただいている。

問 農村公園の中には、活性化施設のまっぼっくり、大沼、ふれあい交流広場、水辺の広場、それと、親水体験広場、児童遊具、東屋、湿性植物園などがある。夏も近くなると、多くの子ども達が、じゃぶじゃぶ池の周りで遊ぶようになる、池の周りの玉石が剥れコンクリートで補修はしているが追いつかない状況である。

問 じゃぶじゃぶ池の周りのコンクリートが突き出ている危険状態。小さい子どもが裸足で転んだりして怪我をしたら大変。いつそのこと埋めて花壇にしたらどうか。

答 一つの場合として検討させていただきます。



建設工事が進むスーパーマーケット ベイスシア

問 企業誘致について。今宿東土地区画整理地内今宿小学校南側に始まった、食品品スーパーマーケット（ベイスシア）の進捗状況について伺う。

答 ベイスシアのスーパーマーケットについては、現在建設中である。4月下旬からの基礎工事も終わり、建屋の鉄骨を建て始めて、竣工は8月下旬、オープンは9月中旬を予定している。

問 ベイスシアの店舗内に身障者用の電動車椅子で買物出来るか。

答 車椅子、電動車椅子、また、盲導犬等も入店可能である。

問 今宿東土地区画整理地内今宿小学校南側に始まった、食品品スーパーマーケット（ベイスシア）の進捗状況について伺う。

答 ベイスシアの店舗内に身障者用の電動車椅子で買物出来るか。

問 車椅子、電動車椅子、また、盲導犬等も入店可能である。

問 今宿東土地区画整理地内今宿小学校南側に始まった、食品品スーパーマーケット（ベイスシア）の進捗状況について伺う。

答 ベイスシアの店舗内に身障者用の電動車椅子で買物出来るか。

問 車椅子、電動車椅子、また、盲導犬等も入店可能である。